

三学部横断型ゼミナール・プロジェクトがオンラインで最終報告会を開催

—企業の CSR 報告書を作成し、発表—

日時：2020年7月11日（土）

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、2020年度前期「学部横断型課題解決プロジェクト」（通称：三学部横断型ゼミナール・プロジェクト）の最終報告会を7月11日（土）に開催いたします。2008年度に正規科目となってから、今年で13年目を迎える2020年度は前期・後期ともに1クラスずつ開講しており、前期は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、オンラインで授業を実施しています。最終報告会もオンラインでの開催となり、2～4年次生23名の履修生たちが実際に作成した＜CSR報告書＞のコンセプトやオリジナリティ、具体的な内容について報告します。また今回は、履修生の保証人・武蔵大学生・卒業生を対象に限定公開し、観覧には事前予約が必要です。

概要

本プロジェクトの特長は、経済学部/人文学部/社会学部の三学部の学生がチームを構成し、お互いの専門知識をぶつけ合い、協働して一つ課題に挑戦することです。課題は、担当する課題提供企業の《CSR報告書の作成》と《今後のCSR活動とCSV活動について提案をする》です。協働作業の中で学生は「横のつながり」の重要性を認識し、学生の自己管理能力、チームワーク、リーダーシップなどを養いながら、実社会を深く知ることができます。

日時

日時：2020年7月11日（土） 14：10～16：25（限定公開・要事前申し込み）

担当教員：大熊美音子経済学部助教、代島克信人文学部客員教授、玉置佑介社会学部助教

課題提供企業

■ [有限会社原田左官工業所](#)

事業内容：左官工事、タイル貼り工事、防水工事、れんが・ブロック工事業

■ [株式会社牧野フライス製作所](#)

事業内容：マシニングセンタ・NC 放電加工機、NC フライス盤・フライス盤、CAD/CAMシステム・FMS等の製造・販売・輸出



内容 ※進行によっては、多少時間が前後することがあります

13時50分～14時35分 聴講者オンライン入室受付、開会・来賓のご紹介、概要説明、関係者挨拶

14時35分～15時20分 株式会社牧野フライス製作所担当チーム発表

15時20分～15時30分 休憩

15時30分～16時15分 有限会社原田左官工業所担当チーム発表

16時15分～16時25分 全体の講評



昨年度の最終報告会の様子

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報室

TEL：03-5984-3813 FAX：03-5984-3727 E-mail：pubg-r@mml.sec.musashi.ac.jp



2022 年、武蔵学園は創立 100 周年を迎えます。

■武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩 6 分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年 4 月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開校され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の 3 学部 8 学科からなる文系総合大学。一年次から 4 年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012 年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開校、キャンパス内留学の拠点とした。

2020 年 3 月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022 年 4 月、学園創立 100 周年を迎えるこの年に、新学部となる国際教養学部（仮称）の設置を構想中。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1